

折

いじやが牙則

ありがとう と言ふははいやない

いじやが牙の度量が必要

相手がいじやが力加迫がポイント

とちやうでやりのほもつてのほか

これが去来の人には 頭がよい 目的意識が

ある 用意周到 できやうにほなるうない

ほやりのスカーフを やつと手はぬか

ブレゼととする

当然ありがとうけな

次の白 娘がそのスカーフをい

寒く穿つて来たので 柴羽織丈の 羽衣か

いと思ふ物を買つて来た

おんた このえりぐりね

と断ちほさずでスタく 印を

夕食のあかお 食べる中の食物をつつき

ながらこのあかお 物くまのか

夜帳をかえつて来た二人分の食料を

てたべたりよ

。客用の産産団にする。市に毛糸をさす

足車をしていた

その後も向する必要はない

私の着物を守どくのは、どうしていいか

つづくストレスに

思わず大声をあげて長い足に足が

こねてしまっている

この子子だと、気がくる、てしきり

くるうに子子のん気は、9を4で分けて

つとろう思っているが、子んをつかう

いじめの道にゆはさすにいと

心にすかす

これにやはずもわいてい

アケうたって、みみず、だって

皆、みんな、お運ちゃん

2021  
11/6